

PIIA **Knots**
Public Interest Incorporated Association
公益社団法人ノッツ

公益社団法人Knots ノッツ・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

お話：西澤亮治 さん

株式会社ペイ 代表取締役

日本国内の犬の飼育頭数は、ここ数年減少傾向にあります。一方「空前の猫ブーム(本当?)」ともいわれ、猫の飼育頭数も増えているわけではありませぬ。ペットの飼育には手間もお金もかかる、集合住宅なのでペットの飼育が禁止されている、死ぬとかわいそう…。これらが「ペットを飼育しない」主な理由の一つです(ペットフード協会の調査より)。

また、以前弊社で実施した「高齢ペット飼育者の意識調査」では、自分自身の年齢や健康を考えると(犬や猫は15年からそれ以上の長い時間、一緒に暮らすことになるため)「最後までできらんと世話をしてあげられない」「看取ることができない」といった不安から、多くの人が「ペットとの暮らしを諦めている」とがわかりました。

仕事や子育ても一段落し、自分のための時間を十分に使える人たちこそ、本来一番「ペットと楽しく、高齢者がいつまでも大切なペットと一緒に暮らす、そのひとつの「答」がこちらになります。」「ペット共生型有料老人ホーム」



いつまでもペットと暮らす楽しさ

つまでも長く暮らしていただきたいのですが、現実にはなかなか難しい

いようです。

超高齢社会を迎え、このままペットの頭数が減少し、ペットと

暮らしたくても暮らすことのできない人が増えることはとても残念なことです。現在、我が家には2頭の犬がいます。世話も大変、破壊された物

も数知れず、私のベッドも占領され、朝、犬の重さで目が覚めると、犬と暮らしている人なら誰もが頷く「あるあるネタ」満載の毎日です。

でも「楽しい」ことや「うれしい」ことがそれ以上にあります。

「ペットと暮らすと大変なこともあるけど、とても楽しいよ。」

私は、子どもたちにも高齢の人にも、できる限り多くの人に、このことを伝えていきたいと思っています。これは、ペットと共に暮らすことの「良さ」を知り得た者の大切な役割です。



ペイ・ハッピープレイス TAMATUKURI
<https://php.peppynet.com/>
(2018年3月竣工予定)。